

第6回 中山町学校の将来構想検討委員会 次第

日時 令和6年12月17日（火）

16時～17時30分

会場 中山町中央公民館 第1会議室

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 報告
 - ・10月31日における学校視察について
- 4 協議
 - ・町民アンケート（案）について
- 5 諸連絡
- 6 閉会

10月31日に検討委員会メンバー15名で新庄市立明倫学園（義務教育学校）、村山市立袖崎小学校（複式学級のある小規模校）を視察し、授業や校舎、設備の見学と、当該学校長や教育委員会からお話をいただきました。

第6回の検討委員会では、事務局より学校視察の報告を行いました。また、今後実施予定の町民アンケート案について協議を行い、委員の方々から様々なご意見をいただきました。

〈アンケートの実施時期について〉

- ・町民アンケートについては実施可能かと思われるが、やはり、町民としてどういう学校の類型がよいのかイメージができるかどうかということとできない。もっと深く説明していくことはできないか。そう考えると時期が適当か考えなければならない。
- ・学校視察の時に、他市町の教育委員会から話を聞いても、住民説明会をかなり重ねてしていると伺った。町民にどこまで具体的な情報を提供できるかということが、アンケートを左右するのではないか。2月でないと間に合わないのか、もう少ししていねいに住民に説明する機会を設けて、新年度になってからの実施ではどうだろうか。あるいは、2月に実施して、その後にさらに何らかの住民の意見を集約する機会があるのか。

学校類型の選択肢の一つである「義務教育学校」については、まったく新しい概念であり、わたしたちが聞いたような機会を町民の方にも設ける必要があると感じる。2月のアンケート実施は難しいと思う。

〈アンケートの内容について〉

- ・アンケートの内容で足りないのは、建築するのかどうかという提案説明や方向性の明示がないことだと思われる。例えば学校の形態がこのままというのは、新しい建物を建て

ずにそのままということなのか、それぞれに今ある学校を新しく建て直すということなのか。義務教育学校の形態について、中学校が新しいのでそのまま活用していくのか否か。その辺りがよくわからない中で学校の類型について聞くことができるのか。そういうこと（学校の類型について中山町として施設をどうしていくか）も具体的に入れていただいた方がいいのではないかと思います。

- ・教育委員会としての学校のあり方の方針とか、考え方とか、義務教育学校も含めた学校類型の選択肢についての説明を十分に尽くし、広く町民を巻き込んだ上で学校を作っていくかないと、地域の学校という印象が弱いのではないかと。新しいものを皆でつくっていくという方向にもっていきたいとすれば、アンケートをとり急ぐよりは、アンケートの対象者を含めて生の意見をいただくことを考えていったらどうか。

【将来構想検討委員会の今後の方向性として】

中山町の教育の展望というものを住民に十分に周知していくべきという意見がありました。今後、義務教育9年間を通して子どもたちにどういう力をつけていくか議論していく必要があります。

また、多様性の社会の中で課題解決の方法や協働的な学びをしていくことが子どもたちの未来につながっていくと考えます。そのための専門性の高い教育環境を整えるということを住民に向けてていねいに説明し、その上で、町民アンケートを実施する方向ですすめてまいります。